

発言者	内容
司会（会長）	生活科の教科用図書について審議する。 東京書籍について、いかがが。
委員	紙面は内容的にA4サイズにする必要性が低い。
委員	巻末の「かつどう べんりてちょう」は使いやすくてよい。
委員	「ポケットずかん」は絵が美しく、内容もよいが、大きくて使いづらい。
委員	教科書自体は大きすぎる印象である。
委員	外国にルーツのある児童が写真で登場する。他社もそうであるが、児童が日常生活でさまざまな国の人と出会うことを想定している。
委員	安全面について、しっかり書かれている。判が大きいため、文字が大きくなりすぎてしまう。
委員	文字を大きくしているのは、他社との差別化を図るねらいがあるのではないか。
委員	最近のランドセルはA4判に対応しているが、どの教科もA4判になると重くなり、児童の負担が大きくなる。また、教室の児童机はA4サイズに対応できていない。
委員	生活の多様性やICT環境について児童に学ばせる点はよい。
委員	「保護者の皆様へ」でDマーク等の家庭での活用について明記しているところが特徴的である。
委員	インターネットの活用は学習を広げ、深めるためにはよいことである。積極的活用にあわせて、低学年の児童が使い方を間違えないよう保護者への協力を呼び掛けている点がよい。
委員	サイズが大きく、ページに余白が多くなっているレイアウト、文字、写真、イラストが大きく使っている。
委員	写真は美しく大変よい。
委員	這いまわる生活科にならないよう、遊びで終わらせず理科や社会につなげられる学習を展開するために、活動に目的を持たせられているかが重要である。

	この観点から鑑みて、東京書籍は教科書の中にそのコンセプトを盛り込むことができている。
委員	大きくて扱いにくいことのみが問題であり、内容等はよいと感じる。
司会（会長）	大日本図書について、いかがか。
委員	表紙の質感がよくない。
委員	紙面のつくりが絵本のようにでこぼこがあり、授業者が扱いにくい。
委員	巻末の「がくしゅう どうぐばこ」はジャンル別にまとめられていてよい。わからなければ、ここを見ると学習できる。
委員	「がくしゅう どうぐばこ」は事典のように使うことができる。
委員	内容的には、児童がやって終わりのような形にならないよう配慮が必要である。教師は学習の筋道をしっかりさせた授業計画を立てなければ、やりっぱなしになる危険性がある。コンピュータに関連する内容の記述が少ない。
司会（会長）	学校図書について、いかがか。
委員	可もなく不可もない印象である。調査員会報告の様式2においても、全て〇の評価であることにも表れている。
委員	イラストが多いため見づらい。また、写真の発色がよくないため古く感じる。写真の見方について、逐一イラストが教える形式であるが、必要性を感じない。
委員	学習の意図がわかりづらい。
委員	特徴が少なく、ここが優れているという点をなかなか見出せない。
司会（会長）	教育出版について、いかがか。
委員	「学びのポケット」のコーナーを2年の児童が扱うことはたいへん難しい。特にグループでの話し合いは高度で、発達段階に合っていない。
司会（会長）	巻末に他教科との関連が記載されていることはよいと感じるが、いかがか。
委員	大人の思い、つまり作り手の意図が強すぎるように感じる。児童が消化しきれないのではないか。
委員	特別活動との関連で、安全について書かれている。特別活動用の教科書は無いので、使うと便利である。1年時に安全に係る学習を行うことは大切なこ

	とであり、その工夫がなされている。
委員	内容が高度である。写真やイラストが多くスッキリしない印象である。
委員	全体的に見にくい印象がある。
司会（会長）	光村図書について、いかがか。
委員	情緒的な印象である。
委員	絵本のような印象である。挿絵が多く、写真が少ない。
委員	イラストのタッチが急に変わるため、ページによって受ける印象が大きく変わる。
委員	イラスト作家が複数いるため、統一感に欠け、落ち着かない。 イラストは学習の手助け程度であるべきだが、メインになってしまっている。
委員	他の委員と同じような印象である。
司会（会長）	啓林館について、いかがか。
委員	まちたんけんなどではやることがわかりやすく、はっきり示されている。見通しをもった学習活動を展開できる工夫がある。情緒的でやりっぱなしの学習にならない。
委員	理科及び社会科につながる紙面づくりが行われている。
委員	紙面構成は安心できる。
委員	写真やイラスト等が落ち着いて配置され、見やすい。
委員	文字の大きさもちょうどよく、読みやすい。
司会（会長）	日本文教出版について、いかがか。
委員	写真の色が悪く、鮮明ではない。特に緑色の発色が悪く、立体感がない。イラストの色はよい。
委員	低学年の児童にとって、教科書は図鑑も兼ねており、写真は重要な資料であるため、鮮明な方がよい。
委員	写真に出てくる子どもの表情はとてもよいのだが。
委員	巻末の「じぶんで できる こと ずかん」で、箸の持ち方等、生きていく

<p>委員</p> <p>司会（会長）</p>	<p>上でのマナーをしっかりと取り扱っている点がよい。学級指導や給食指導の中でなかなかできないことであるため、取り上げられているのは大変よい。</p> <p>鉛筆の持ち方が高学年や中学で悪くなる傾向があるため、低学年でしっかり指導しておくといよい。</p> <p>本委員会では学習のめあてや道筋がはっきりわかる教科書を推薦したい。本委員会では、啓林館と東京書籍の2社が内容的、分量的に同等のよい出来であると考えているが、大きさが児童に相当である啓林館を第一に、やや大きすぎる東京書籍を第二に推薦することとする。</p>
-------------------------	---